



1ミリのこだわり、ブレない情熱。

Special Interview

カヌースラローム競技
男子カヤックシングル選手

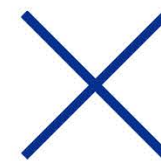
足立 和也

ADACHI KAZUYA

ムーンクラフト株式会社 代表

由良 拓也

YURA TAKUYA



フェイスブックのメッセージから始まった足立選手と由良さんの出会い。40年以上にわたる由良さんのレーシングカーの開発技術を生かし、カヤックの共同製作に着手。試行錯誤を繰り返し、足立選手は2019年の国際NHK杯にて4位を獲得。カヌースラローム競技日本代表に見事選出されました。良いカヤック製作に、なんとキーパーコーティングが参画！?カヤック製作秘話と2人の情熱に迫りました。



足立選手のサポートカーであるメルセデスベンツの前で。手前は市場大樹コーチ。



1990年10月23日生まれ。神奈川県出身。幼い頃からカヌースラローム競技に触れる。大学の時に日本代表Bチームとしてワールドカップなどの世界大会に出場するも成績を取ることができず、世界の壁を痛感する。大学3年の時に市場コーチの活動拠点であった山口県に移り、その年の日本選手権で優勝。その後日本選手権で3連覇を果たし、2014年、アジア大会で優勝。2016年、日本人初のワールドカップ決勝進出を果たす。2019年、国際NHK杯4位入賞。日本代表選手に選出される。

カーレースに携わる由良さんなら、 乗り手の気持ちや要望に 応えてくれると思っただんです(足立)

2人の出会いのきっかけと カヤック製作秘話

由良:カヤック製作の依頼をもらったのはいつ頃だったの？

足立:2016年のドイツで行われたワールドカップが終わった頃だと思えます。調子が良かった時で、もっと上を目指そうと、市場コーチがなかば勢いで、由良さんのフェイスブックにメッセージを送ったのがきっかけです。由良:市場コーチは、カーレースが好きで、レーシングカーがカーボンファイバーでできているのを知っていて、カヤックも同じカーボンでできているから作れるだろうと思っただけなんです。うけど、それはちょっと浅はかだったな

(笑)。当時の僕は、遊び用のシットオンのフィッシングカヤックは持っていたけど、レース用のカヤックの構造なんて知らなかったし、カヌーのレースさえ見たことがなかった。メッセージもなかった時はびっくりしたよ。日本製のカヤックを製造している有名な企業もあるのに、どうしてそっちに依頼しなかったの？

足立:カーレースに携わっている由良さんなら、乗り手の気持ちや要望にきつと応えてくれると思っただけです。

レースの世界では0.1秒の差が勝負を決めます。だからこそ、カヤックの1ミリ単位の形状の違いによる体感が大きくも言えます。その理論では計算できない微妙な体感の違いを理解し、一緒に追究していただけるんじゃないかと。

由良:なるほどね。確かにレースの世界は結果がすべて。とにかく速くなくてはいけない。0.1秒の差がとても重要というのを知っているからこそ、理論ではなく、乗り手の体感を優先して作る。とても時間のかかる作業になるけれど、「1ミリくらいいいじゃん」では絶対に勝負に勝つことはできません。競技選手特有の乗り心地に関する言葉の表現を、市場コーチに翻訳してもらって言われるがままに作っている

感じます。何も知らなかったゆえに先入観なく作ることができたのは良いのだけれど、最初は全然要求に答えられなくて。最初の1艇は、ろくでもないものができちゃった。初めて作ったパドルも割れちゃうわ、重いわで。壊しまくっています(笑)。

足立:完成した次の日に壊れてしまった。明日までに直してほしいとお願いしたこともありましたが。本当に申し訳ないと思っています。でも1ミリ、100グラムの違いで、その体感やスピードは大きく変わってきます。見た目ではもちろん分からないですよ。でも乗ってみて、水上で少し漕げばすぐに分かります。思い通りに動けるか動けないかがミリ単位で違ってくるんです。そのミリの差が、コマ何秒の差になってくる。それを理解して形にしてくれる人は、由良さん以外にまずいないと思います。

由良:最初は、ヨーロッパの最先端のカヤックを見せてもらって、それを真似て

当時はカヤックの構造も知らなかったし、 最初の1艇は、 ろくでもないものができちゃった(由良)



1951年8月21日生まれ。東京都出身。レーシングカーデザイナー、乗り物創造作家。高校時代からレーシングカー製作に携わり、1972年、フリーでレーシングカーのデザインを始める。「彼には空気が見える」と言われるほど、その作品はエアロダイナミクスの完成度が高いと評価を受ける。現在は、株式会社ムーンクラフト代表として、国内外の自動車パーツのデザイン、モーターショー出展車製作、ヨット、モーターボート、ステーションリーなど幅広い開発に携わる。